

パルシステム生産者・消費者協議会

2017年度 上期東北・北海道ブロック会議 開催報告

パルシステム生産者・消費者協議会
事務局

- ・2017年6月8日～9日に(有)富良野青果センター（北海道）を受入産地として生消協の東北・北海道ブロック会議が開催され71名が出席しました。当該産地はパルシステムに玉ねぎ、人参、じゃがいも等の供給を行っている産地です。
- ・生産者は13産地・50名が集い、生消協からは大津代表幹事、杉本消費者幹事（パルシステム神奈川ゆめコープ）、中山消費者幹事（パルシステム茨城）、細谷消費者幹事（パルシステム静岡）のほか、今年度の活動方針でもある他ブロック役員の交流・情報収集のため、関東・中部ブロックから坂入副ブロック長、関西・以西ブロックからは酒井副ブロック長が参加しました。
- ・パルシステムグループからは、ジーピーエス野村専務ほか2名、パル・ミート大泉常務、パルシステム連合会 渋谷常務執行役員ほか5名が参加しました。
- ・開会挨拶を五十川ブロック長が行い、昨年は大雨による被害があったが、苦勞を乗り越えていい商品作りへの努力を続けよう会場に呼びかけました。また、今年度は役員改選が行われ、ブロック役員が変更となったため、役員紹介を行いました。
- ・その後、生消協、パルシステム連合会、ジーピーエス、パル・ミートの方針、実績、取り組み等の説明を各組織の役員より行い、受入産地報告、消費者幹事報告を行いました。
- ・今回は地元でメロンを生産する農家、寺坂農園株式会社 代表取締役社長 寺坂祐一氏より『直販・通販で稼ぐ！年商1億円農家－お客様と直接つながる最強の農業経営－』と題した講演をいただきました。ダイレクトマーケティングの特徴・優位性、顧客獲得と産地との結びつきを継続させるメールマガジン発信、SNS活用（長文投稿）等を説明いただきました。
- ・まとめを行った杉本消費者幹事は「講演を聞いて子供の家庭科の教科書に掲載されていた一文を思い出した。それは、『買い物は投票です。どのような商品を購入するかが、どのような企業を応援するかにつながり、自らが目指す方向（未来）を変えていく。』という一文。毎回寺坂さんからメロンを購入する顧客は寺坂さんの思いに共感しているから。私たちは生協という組織を通して環境や社会を良くしようとしている。一消費者ではあるが今後も子供や次の世代のことを考え、選択（投票）していきたい。」と結びました。
- ・2日目は(有)富良野青果センターの作業場・玉ねぎ圃場視察、土の博物館・フラノマルシェの見学を行い、ブロック会議のまとめを行いました。
- ・最後に次年度の開催は常盤村養鶏農業協同組合（青森県）に決定したことが報告されました。



・ブロック会議の様子



・寺坂氏による講演



・受入産地報告



・懇親会で披露された郷土芸能「へそ踊り」



・作業場視察



・玉ねぎの圃場視察